

# 犯罪や非行のない明るい社会を「社会を明るくする運動」



今年で59回を迎えた「社会を明るくする運動」は、すべての国民が、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする全国的な運動です。

愛南町においては、初日の7月1日に、約100名の参加を得て本庁玄関前で社会を明るくする運動広報パレード出発式を行い、パトカーの先導により広報車等15台で城辺商店街から平城商店街を車でパレードしながら、犯罪や非行をした人の立ち直りの支えと犯罪のない明るい地域社会を築こうと通行人に理解と協力を呼びかけました。このあと地域ごとに広報活動を行いました。



【学習会での子ども達の感想】

城辺小学校

私ができることは、近所の方に笑顔であいさつをすることです。それを続けてみんなに広がったら社会が変わっていくと思います。

久良小学校

よいことをすると、みんなが笑顔になり、そして自分も笑顔になることがわかった。

また、7月15日には、宇和島海上保安部の協力を得て海上パレードが実施され、巡視船「れいぶん」で町内10漁港を巡りながら海上から沿岸の人たちに理解と協力を呼びかけました。

このほか各地区の夏まつり等の街頭啓発活動、更生保護女性会による集会活動等を実施しました。

また、久良・城辺小学校児童の社会を明るくする運動の学習会では、全国作文コンテストの入賞作品を題材に「自分たちができることは何か」を考えて話合うなど、有意義な学習会となりました。

皆さま方には今後とも「社会を明るくする運動」へのご理解とご協力をお願いします。